|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(5)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2024年2月3日　週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教  ハンナが見た永遠の答え(Ⅰサム1:9-11) | △レムナント伝道学  幼いサムエルが見た永遠  (Ⅰサム 3:19) | | △核心  サムエルが受けた永遠の答え(Ⅰサム 7:1-15) | | △散らされた弟子たち  散らされた弟子たちの働き(Ⅰサム 7:15-17) |
| □序論  1.産業人は、祈りのやぐらを建てることが重要だ。  2.霊的科学  1)脳が生かされて　2)私たちの霊とたましいが生かされて  3)私たちの実際にからだが生かされること  3.巡礼者の祈り  1)すべてを受容　2)すべてを超越  3)その中で答えを見つけること  4.この祈りが正しく成り立てば、持続答え  1) 3 ・ 9 ・ 3三位一体の神様がともにおられること。御座と神の国のこと９つ、過去、現在、未来  2) 7やぐら、7旅程、7道しるべ　この祈りを続ければ４つの力がついてくる。５力、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、あらかじめ見るCVDIPの力、教会と私の産業に三つの庭を作る答え。これが7やぐら。祈りを続けて味わえば7旅程、絶対やぐらが建つ7道しるべだ。  5.3集中(編集、設計、デザイン)生活自体が祈りであるべき。祈りの力でメッセージして、その祈りの力で人に会って、祈りの力で事件に会う。夜には人生編集が始まる。重職者の編集は、十分な資料を見ることだ。あらかじめ編集されてこそ、みことばで答えが出て来る。すると、神様の計画が見える設計、完ぺきな現場が見えるデザインだ。祈りの奥義だ。私の人生が祈りの中にあるべきだ。  □本論\_ハンナの祈り  1.答えがない祈り  1)肉的動機　　2)恨み祈り　　3)自分自身のための祈り  2.絶対契約(絶対ミッション)  1)神様の絶対計画を悟った  2)みことばが見えるしかない。絶対契約  3)確実なミッションを握った。  3.答え以降　神様が重要にご覧になること  答え以降にその人がどのようにするのか。答えが来たとき、どのようにするのか準備  1)Iサム1:9-11ナジル人の契約  2)Iサム2:1-10答えが来たとき、本当に賛美  3)Iサム3:1-19実際に実行  □結論\_絶対やぐらを建てなさい  1.24(3集中)、25（答え)、永遠(作品) 24は3集中すること。夜には正しい証拠と現場と内容を分析。朝、私のからだ、たましい、みな生かす祈り。神様が与えらえた25が来る。永遠(作品)という働きが起こる。  2.見張り人　答えを受けたことを持って見張り人をすること  3.プラットフォーム、見張り台、アンテナ　産業の場と教会に人が来て、人が生かされるしかない。いつまで祈るべきなのか。教会に対する絶対ミッションが出てくる時まですれば良い。 | □序論  レムナントがこのように(Iサム3:19)なれば正しく答えを受けたのだ。  1.RTのときに祈りできるならば御座の祝福を味わうことができる。  2.やぐらを建てれば世界福音化することができる。  3.やぐらの内容はプラットフォーム、見張り台、アンテナだ。これを建てれば霊的サミットになって、技能サミット、文化サミットはついてくる。  △朝に起きて脳を生かす祈り5分、寝る前に簡単なメッセージを聞いたり、文章を見て契約を抱いて5分、昼には力を味わう祈りをすれば良い。  □本論  1.契約の箱のそばに  「幼いサムエルは、神の箱が置かれている主の神殿で寝ていた」勉強ができるレムナントの中でも、契約の中にいるレムナントは、ほとんどみな答えを受ける。  1)「エリは目がかすんでいて、自分のところで寝ていた」  2)「みことばはまれにしかなく、幻も示されなかった」苦しいことが来たとき、みことばの中に入るべきだ。  3)「幼いサムエルは、神の箱が置かれている主の神殿で寝ていた」ここに神様の御声が聞こえた。  2.神様の御声が私の心に  1)３度も聞こえたが、サムエルは経験がなくて分からなかった。  2)エリが話す。いくら無能な説教者でも、神様の御声を聞くべきだ。  3)Iサム3:19 「主は、彼のことばを一つも地に落とすことはなかった」  3.どんな答えを受けるようになるのか  1)いつもそばに寝ていた契約の箱が奪われた。契約の箱についてのことをダビデに伝えた。  2)ミツパ運動をした。  3)ダビデという人物を育てた。  □結論  1.皆さんは見張り人だ。  2.見張り人にはやぐらが必要だ。  3.やぐらはいのちを救うためにある。これがレムナントの使命だ。 | | □序論\_金土日時代  1.指導者訓練をさせるべき  1)読書フォーラムをすべき。歴史、世界史、哲学史を知って、みことばで答えを  2)偉人、人物を勉強してキリストで答えを  3)祭りを通してすべての偶像、霊的問題、成功がみな来る。三つの祭りで答えを出すべき  4)祈りの奥義を分かってこそ礼拝回復  5)あなたのただ(タラント)は　6)あなたの唯一性(専門性)は  7)あなたの再創造(世界化)は  2.霊的サミットの奥義  1)３集中　朝にすべての準備時間、夜に整理祈り。昼に祈りの中で受容、超越  2)３呼吸　朝に動くことができる、昼に難しいことを克服できる、夜に答えを得る祈りと呼吸  3)３答え　問題、葛藤、危機が答え。霊的サミットになる奥義  3.一生のミッション　TCKが一生すべきことを見つけるべき。その国に帰って勝つことができて生かす。  1)編集　資料を見つけてみことばで答えを出す  2)設計(計画)すべての所で神様の計画が  3)デザイン(現場)世界が見えて現場が見える。  祈りシステムを備えること  □本論  1.契約の背景　エリ、母親がサムエルを作り出した  1)Iサム1:5-21契約の中で生まれる  2)Iサム1:24-28親の背景なしでは不可能  3)Iサム3:1-19神様の御声を直接聞く  2.霊的サミット「ミツパ運動」  1)レムナントが行く所に偶像が崩れて暗闇が縛られる  2)すべての民、特に次世代をミツパに  3)ペリシテが崩れて　4)全国を生かす巡回  5)全国巡回、多くの幕屋に職分者を立てて幕屋運動の回復  3.技能、文化サミット　霊的サミットの後についてくること  1)Iサム16:1-13ダビデに油注ぐ。サムエルの業績の中で最も大きなこと  2)Iサム19:18-20ダビデに危機、死の危機が来たとき、助けて生かす。  3)I歴29:29サムエルは多くの啓示を受けて神様のみことばを記録して残す  □結論\_味わうこと証拠  1.創37:11　レムナントの祈りが心にとどまるべき  2.出2:1-10　レビ人の契約がモーセの心に  3.Iサム1:9-11　ハンナにとどまったことがサムエルに  4.Iサム17:18　すべてのレムナントに正確なミッションを  5.I列18:1-15　危機時代に預言者100人  6.ダニ1:8-9　レムナントがこの契約を持って行くように  7.ロマ16:1-27　ロマ16章の人々24主のしもべのために祈り | | □序論\_散らされた弟子たちが自分の価値から知るべき  1.祭司、王、預言者  神様は皆さんを霊的な祭司、王、預言者として呼ばれた。  2.残りの者、巡礼者、征服者だ  3.この時代を生かす見張り人だ  1)見張り人は、やぐらが必要だ。  2)移動するやぐらだ。  3)人を生かす光を持っている  □本論  1.偶像を止める霊的働きが先に主の御名であるイエス・キリストの御名で暗闇の権威を打ち砕くとき、必ず答えが来る。  2.ミツパに集まり  根本問題が解決されなければならない。「ペリシテのせいではない。あなたがたは主に立ち返りなさい」それゆえ、完全に暗闇が崩れてしまった。ペリシテが崩れ始めた。  3.巡回働き  事業も伝道も全体の中にいる-弟子を見るべき  4.次世代の働きに重要なのが身分、権威「この日以来、主の霊が激しく下った」ダビデが行く所で悪霊が追い出されてしまった。  □結論  1.一番最初に霊的なことを見るべき  2.それから、現実を正確に見ること  3.作るべき最後のことが絶対システム、弟子 |
| 2024第1,2,3 RUTC答えの永遠(5)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2024年2月4日　週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ第５週  私の中にやぐらを建てる金土日時代と永遠の答え(Ⅱコリ10:4-5) | | △聖日１部  生きている伝道弟子ステパノ(使 7:54-60) | | △聖日２部/神殿建築献身礼拝  永遠の問題を解決された永遠のやぐら(使 8:4-8) | |
| 私たちが金土日時代をするのは、必ず日だけを話すのではない。レムナントが祈りが分からない。金土日に私たちの次世代や子どもたちが行く所がない。また、学業を助けてもらうことも、苦しいことがあるとき、どこかへ行って指導を受けることもできない。それゆえ、私たちの次世代が教会に来ることができるように、金土日時代のやぐらを建てて祈りができるようにさせるのだ。すると、幼い時に学んだことは、永遠の答えに変わる。大きな事故を起こす人々は、みな幼いときに傷ついた人々だ。それゆえ、間違ったやぐらを打ち倒すみことばのやぐらを建てるのだ。重職者の皆さんが教会に来て献身して、献金することは、とても大きなことなのだ。皆さんの名前でこの中に237やぐらを建てるということは、とても重要なことだ。  □序論  1.３団体と宗教団体では霊的世界を利用して霊的作品を作って  2.ネフィリム作業をしている。  3.お祓い、瞑想、気功運動、超能力をおこない、ムスリムは定刻祈りをする。  □本論\_三つのことをすべき。  1.私の中に霊的やぐらを建てるべき。  そのためには、24できる霊的呼吸が必要だ。これを教える霊的やぐらだ。外に出て行って、祈りの奥義を持って仕事ができるなら、必ず証人になる。  1)三位一体の神様が私とともに、  2)御座の力が私とともにある。  3)過去、現在、未来の３時刻表、３時代を神様の力で味わう祈り  4)祈るとき、上から与えられる５力、  5)空中の権威を持つ支配者(エペ2:2)に勝つ力、  6)さらに重要なのは未来だ。CVDIPがあらかじめ見えるように祈るのだ  7)教会、事業、学業が三つの庭になるべき。  2.人生のやぐら　これを持って勉強するように、人生のやぐらを作るべき。  1)ともにWith、私とともに　　2)インマヌエル　私たちとともに  3)ワンネス　苦難にあい、苦しいことの中にいると思ったが、それも答えだ。すべてのことが一つとなって答えとして現れ始める。  3.見張り人やぐら  レムナントが見張り人になれるように、やぐらを建てるべき。  1)皆さんと皆さんの産業、学業にも必ずプラットフォームができる。  2)闇に陥った者を生かす光を放つ見張り台と  3)神様と御座と世界と通じるアンテナが立つようになる。  □結論\_キリストの大使  1.霊的サミットになる王のような祝福、暗闇に勝つ王のような祝福、  2.真の預言者キリスト、  3.わざわいをなくす祭司の祝福を大使として私たちに与えられた。 | | □序論  戦争、自殺、人を殺すようにさせるサタンに勝つ権威を、教会にだけ与えられたが、教会は力がなくて、皆さんは衣食住が心配だ。はやく解放されるべきだ。確実に戦えば、ものすごい証拠が与えられる。  1.キリストがオリーブ山で与えられた世の中を生かすことができる奥義(使1:3、8)－やぐら、旅程、道しるべ(目に見えない力)  1)天の御座の力が私のやぐらになるように説明された。  2)このやぐらが旅程になるように説明されたのだ。  3)特別やぐらを建てる道しるべを話された。  △目に見えない上から与えられる力(Tacit Power)から養うべき。  2.見張り人のやぐら-マルコの屋上の部屋  1)三つの祭りの奥義-力が臨むことができる奥義が出て来る。  2)5力が出て来る。  3)未来が見える。  3.霊的伝染病とわざわいを止める職分者を立てた(使6章) -その代表的な人物がステパノ  1)聖霊の満たし、信仰の満たし、知恵の満たし  2)危機に陥ったイスラエルと世界を生かすことに献身したステパノ  3)戦争、殺人、自殺する人はサタンに捕えられたのだ。霊的な力を持って祈るべき。  △キリストがオリーブ山で与えられた目に見えないやぐらを建てなさい。マルコの屋上の部屋で体験した目で見えない力、回復しなさい。実際に上から与えられる力を持って職分を回復しなさい。  □本論  1.殉教を覚悟して献身したステパノ-価値を発見したので、真理のために死ぬことにした  1)ステパノのメッセージ-すべてをみなしても、福音がなくて、福音を妨げればわざわいが臨む。  2)天の門が開いた-御座の祝福が臨む働き  3)キリストが御座の右に立って福音を伝えるステパノを応援された。  2.ステパノのことから起こった迫害によって(使11:19)  1)ダマスコでサウロが砕かれて、伝道者としてひっくり返る働きが起こった。  2)アンティオキア教会ができた。  3)パウロを呼んで世界を生かす宣教現場に派遣するようになった。  3.永遠の答えである世界宣教のやぐらができた  1)ステパノを石で打つとき、証人だったサウロが天の御声を聞いた。  2)全世界に向かってやぐらを建てたパウロ-小アジアに、マケドニアに、ローマに  3)ステパノのゆえに、この福音が韓国に入ってきたのだ。  □結論  1.「ステパノは眠った」－ステパノのことから起こったパウロの働きは、今も起こっている。  2.真理のために死ぬ覚悟すれば、できないことはない。  3.本当にやぐら、世界福音化、三つの庭、神殿建築にいのちをかけて24祈ってみなさい。私の人生を変えるべきだ。 | | やぐら、旅程、道しるべ-正確な契約を握って祈れば、これが成り立つ。  正確な契約とは何か。どんな教会－神殿を作らなければならないのか  1.作ったことがないこと－三つの庭  2.集中できる場所がない－金土日時代(レムナントが行く所がない)  3.237-5000、TCK－24、25、永遠　できるべき。  世界神殿準備－神様のみことばで編集(24)、神様の計画を持って続けて設計(25)、神様が与えられる世の中をデザインして作品作る(永遠)－一番良いのは３集中  だれも解決できない「永遠の問題を解決した永遠のやぐら」を建てた－受ける答え  正しいやぐらを建てておいて行くべき。24、25、00を持って、一生の答えを見つけるべき。  □序論\_理由  1.問題　　1)精神疾患者10%-30%　 2)うつ病17%-40%  3)薬を飲む子どもたち10%-44%に増加  2.殺人、自殺、麻薬増加  3.霊的伝染病がわざわいで全世界に広がっている。  4.戦争　いつ起こるか分からない(エペ6:12政治、力、犯罪者、特別な宗教家を捕らえているサタン)  5.Ⅱコリ11:14サタンが光の御使いとして現れて  1)暗闇文化　2)サタン教会を作って　3) 第3-4次産業革命まで掌握  △霊的力が一つもない。それゆえ、子どもたちが死ぬのだ。  □本論\_ピリポ  1.歴史的問題解決  1)分裂-世界化のために各国から側女を連れてきて偶像崇拝を許したソロモン。イスラエルに偶像の神々が満ち始めて分裂  2)BC722－アッシリアが来て、北イスラエルの男たちを捕虜として連れて行き、奴隷として売り、他の奴隷を連れてきて強制的に仕事をさせた  3)南ユダが北イスラエルを軽蔑-ここにピリポが福音を伝えた  △歴史が解決できない所に、ただキリストを持って行って働きを起こしたのだ。  2.絶対不可能解決　1)キリストを伝えたら  2)心を一つに聞いて、話して働きが起こった  3)医師が治すことができない病気を癒やした  3.三つの庭ができた  1)癒やしの庭-不治の病癒やし　2)契約の証拠が次世代に伝えられた。  3)来ている異邦の種族に福音が証しされる異邦人の庭  □結論\_祈るとき  1.教会の中に237-5000種族を生かすやぐらを建てなさい。  2.やぐらチーム構成-レムナント、青年、大学生、重職者、教役者の組をつくって祈り始め  3.現場を生かすチーム構成(ロマ16:25-27) -秘密決死隊、レムナントミニストリー、ホーリーメイソン  △世々にわたって隠されていたこと、とこしえにあることを今。 | |